令和6年度 第1回北栄町環境審議会議事録（概要版）

- 1 日時 令和6年6月9日（日）午後1時30分～3時00分
- 2 場所 大栄農村環境改善センター 大会議室
- 3 出席者 委員 別紙委員名簿のとおり
事務局 環境エネルギー課 杉本課長、岩本室長、三谷室長、西川副主幹
- 4 日程及び内容
 1. 開会
 2. あいさつ
杉本課長 あいさつ
出席者確認：過半数以上参加で会の成立
出席者自己紹介（環境審議会、環境CF0）
 3. 議事
 - (1) 会長、副会長の選出について
立候補が無かったので、事務局から会長に上榎氏、副会長に大野木氏を推薦
会長：上榎 勇氏に決定
副会長：大野木昭夫氏に決定
 - (2) 令和6年度の取組みについて
 - 1) 令和6年度 今年のしごと（北栄町2024）
 - 2) 軟質プラスチックの拠点回収について
 - 3) ほくえい未来トーク2024について
 - 4) 北条砂丘風力発電所の取組を考え・振り返るイベントについて
 - 5) 住まいづくりフェアについて資料6～9、脱炭素ロードブック（別冊）に沿って、町の取組み計画等を説明
審議員、CF0のみなさんにもイベント等の参加をお願いしたい。
 4. 報告
 - (1) 環境CF0について
 - (2) 北栄町環境基本計画改訂（第2次）
 - (3) 令和5年度の取組み、進捗状況について
 - (4) ペットボトルの水平リサイクル協定の締結について（BtoB）
 - (5) 北栄町脱炭素ロードブック作成
資料1～4に沿って、町の取組み状況、進捗状況等を説明
 5. その他
特になし

6. 閉会

議事録（概要版）

報告（3）令和5年度の取組み、進捗状況について	
委員	環境報告書 P4「特定空き家の撤去軒数（D ランク）とはどのような状況の空き家か？
事務局	担当課ではないので詳細は言えないが、建築物全体に危険な損傷があり、そのまま放置すれば、倒壊の危険性が高まると考えられる状態の空き家のこと。
委員	環境報告書 P7「学校給食の地産地消率」が減少しているが、今後の見込みは？
事務局	JA 女性会等とこれまで同様に地産地消で連携しているが、全体的な量が足りない部分があり、それ以外での取引のあった事業者が閉店となり、新たな事業者と契約を行われているが、新たな事業者が一部県外からの農産物を仕入していることによる減少と聞いている。
委員	地産地消率 83%でも全国的には高い方と聞いている。今後、新たな事業者に対して地産地消率増加に向けた取組みを依頼している。
委員	環境報告書 P8 こどもエコクラブとは？
事務局	こどもエコクラブとは幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブで、こどもの環境に対する理解や心を育み、地域とともに環境活動行うことにより地域の環境力を高めてもらう活動です。町は子供等の人数に応じて補助をしています。北栄町では一部を除いて、子ども園、小学校、中学校、高校、専修学校が取組みを行われています。
報告（4）ペットボトルの水平リサイクル協定の締結について（BtoB）	
委員	ペットボトルがペットボトルに何度でも再利用されることはとてもいいことだと思う。ただ、本来はペットボトルを利用しないようにしたり、減らしていく取組みが必要だと思う。
事務局	出前講座、学校教育等により、マイボトル等の啓発は進めている。
委員	ペットボトルは利便性があり、すぐに無くす、使わないということは難しい。マイボトルを利用してペットボトルを使わないようにすること、BtoBのように再資源化していくこと、どちらも大切なことなので、並行して取組みを進めていくことが重要。処理の方法についての啓発も重要。
事務局	状況に応じた取組みを進めていくこと、ごみにしない取組み両方が重要と思われる。ご意見を参考に取組みを進めていきたい。
報告（5）北栄町脱炭素ロードブック作成	
委員	どこで配布予定か？更新予定はあるか？
事務局	全戸配布までは行わないが、イベントや環境関係の会議等で配布し、多くの方に届くようにしていく予定。町 HP にも掲載済。なお、このロードブックの更新は考えていない。改訂する場合は、新たな形での作成になると思われる。
議事 1) 令和6年度 今年のしごと（北栄町 2024）	
委員	事業番号 94 電気自動車関係の予算は「電気自動車急速充電器管理事業」しかないか？

	また、町として電気自動車の導入についてはどう考えているか？
事務局	電気自動車関連の予算としては、その他に「創エネ設備等設置費補助金事業」の中に電気自動車を緊急時の電源として活用するV2Hの補助を行っている。また、町としては公用車を電気自動車に入替えするよう取り組みを進めている。町全体で電気自動車の導入の啓発を行っている。
委員	事業番号102「海岸漂着物処理事業」で地元自治会が海岸清掃等を行っているが、地元が処理できない大型漁具などの処理については、どうなっているか？
事務局	町が直接回収し、ほうきりサイクルセンターへの搬入、処理委託業者への処理委託等を行い処分している。
議事 2) 軟質プラスチックの拠点回収について	
委員	軟質プラスチックの拠点回収の取組はとてもいいことだと思う。もっと回収場所があってもいいと思うし、各自治会のごみ収集所でも回収できるよう検討を進めてほしい。
事務局	現在の拠点回収は事業所3カ所、役場2カ所の計5箇所で予定している。その他の事業所にも声掛けをさせていただいたが、汚いごみが混ざっている可能性があるなど、適正ではないごみの搬入が心配されるといったことから遠慮された事業者がある。ひとまず了解を得た事業所で進めさせていただき、今後、できるだけ回収場所を増やせるよう検討していきたい。 各自治会収集所での回収については、現在、中部ふるさと広域連合がほうきりサイクルセンターの改修を検討しており、その中でプラスチックごみ回収の検討も進められている。現在の予定では令和12年度を目途にプラスチックごみの分別回収開始を目標にされている。今回の軟質プラスチックごみの拠点回収は、今後のプラスチックごみ回収を見据えて、先行して取り組みを進めているといった意味合いもある。
委員	汚れている場合は回収もできないと思われるので、ルール等の周知を徹底されたい。
事務局	チラシの全戸配布、町HP、町放送、出前講座など、いろいろなツールを活用し、周知を進めていきたい。

15:00 終了